



■本部・事務局

(敬称略)

本 部	生駒 浩史	〒606-8151 京都市花ノ木町21-4	TEL. 090-3707-2039
事務局	池上 康幸		TEL. 090-2289-7865

■連盟役員

役 職	氏 名	所属クラブ名	役 職	氏 名	所属クラブ名	役 職	氏 名	所属クラブ名
会 長	生駒 浩史	全西陣磯釣クラブ	相 談 役	岸本 悟	全西陣磯釣クラブ	事業委員長	山見 敏裕	竿流会
副 会 長	中澤 伸好	チーム・パトラー	相 談 役	伊佐 正昭	全西陣磯釣クラブ	事業委員長	八木 順一	P&P
副 会 長	花村 浩司	北斗グレ研	会 計	坂本 勝一	京都磯流会	広報委員長	飯嶋 和徳	P&P
事務局 長	池上 康幸	全西陣磯釣クラブ	事業委員長	近藤 光男	全西陣磯釣クラブ	海防委員長	山下 耕知	北斗グレ研
審査委員長	多田 浩生	ブリーズ						

■連盟杯グレ釣トーナメント大会の歴史 歴代優勝

氏 名	所属クラブ名	氏 名	所属クラブ名	氏 名	所属クラブ名
第1回 西村 治	KYFC	第2回 中澤 伸好	チーム・パトラー	第3回 生駒 浩史	全西陣磯釣クラブ
第4回 生駒 浩史	全西陣磯釣クラブ	第5回 近藤 光男	全西陣磯釣クラブ	第6回 坂本 勝一	KOF磯
第7回 生駒 浩史	全西陣磯釣クラブ	第8回 岸本 悟	全西陣磯釣クラブ	第9回 田中 啓史	KOF磯
第10回 飯嶋 和徳	P&P	第11回 新井 普聖	P&P	第12回 山見 敏裕	竿流会
第13回 坂本 勝一	KOF磯	第14回 坂本 勝一	KOF磯	第15回 坂本 勝一	京都磯流会
第16回 生駒 浩史	全西陣磯釣クラブ	第17回 乾 隆治	P&P	第18回 飯嶋 和徳	P&P

■連盟杯グレ釣トーナメント大会の歴史 歴代入賞者

優 勝	クラブ名	準優勝	クラブ名	3位	クラブ名
第19回 山下 耕知	北斗グレ研	飯嶋 和徳	P&P	山本 一男	P&P
第20回 中澤 伸好	チーム・パトラー	八木 順一	P&P	濱田 靖道	京都磯流会
第21回 乾 隆治	P&P	池上 康幸	全西陣磯釣クラブ	生駒 浩史	全西陣磯釣クラブ
第22回 中 止		第23回 中 止			
第24回 池上 康幸	全西陣磯釣クラブ	飯嶋 和徳	P&P	八木 順一	P&P

■歴代名人

名 人 位	クラブ名	準名人位	クラブ名	
第1回京都府釣連盟名人戦	坂本 勝一	京都磯流会	中澤 伸好	チーム・パトラー
第2回京都府釣連盟名人戦	生駒 浩史	全西陣磯釣クラブ	坂本 勝一	京都磯流会
第3回京都府釣連盟名人戦	生駒 浩史	全西陣磯釣クラブ	乾 隆治	P&P
第4回京都府釣連盟名人戦	生駒 浩史	全西陣磯釣クラブ	飯嶋 和徳	P&P
第5回京都府釣連盟名人戦	生駒 浩史	全西陣磯釣クラブ	山下 耕知	北斗グレ研
第6回京都府釣連盟名人戦	中澤 伸好	チーム・パトラー	生駒 浩史	全西陣磯釣クラブ
第7回京都府釣連盟名人戦	中澤 伸好	チーム・パトラー	乾 隆治	P&P
第8回・9回 名人戦	中 止			
第10回京都府釣連盟名人戦	池上 康幸	全西陣磯釣クラブ	中澤 伸好	チーム・パトラー

※京都府釣連盟では入会クラブ、クラブ員を大募集しております。本部・事務局までご連絡ください。

第24回京都府グレ釣りトーナメント大会



優勝 池上康幸 (全西陣磯釣クラブ)

京都府釣連盟の名人戦が福井県の西小川で行われました。連盟名人戦は延期が続いていて、このコロナ禍が少し落ち着いたところで開催することができました。

今回の、名人戦は連盟の大会後に設けられていて、挑戦者は午前中のその大会に参加しその終了後の対戦となるため体力的には負担がありますが、周囲の状況が分かるために有利な面もあります。今回、中澤名人に挑戦できることとなり大変緊張いたしました。

午前中は磯周りを使ってのトーナメントでしたが途中からうねりがでてきて、名人戦は湾内のテトラにて行われることになりました。そのテトラはあまり釣り人が渡礁することがないため状況は全く分からない状態でした。仕掛けは00のウキで2ヒコのウキ下設定で開始して撒き餌をしますがエサ取りの姿も見えません。沖はテトラ帯を過ぎると砂地のように潮は右から左へと流れています。しばらくすると際のテトラからちらほらと小さいグレの姿を確認することができましたのでその出てくるグレに照準を絞りました。棚を一ヒコに変更してグレが出てくるタイミングに合わせます。そこで小さいながらも最初の一匹を釣りあげるこ

とができ少しホッとします。今日はこの釣りに徹するしかないと考え、また同じように打ち返すと次に来たのがなかなかの引きの強さの魚です。コッパグレを数揃えようとしていた時に予想に反したグレの引きに動揺が隠せずタモを取るのも四苦八苦しながらもなんとか釣りあげることができ、目測で30cm弱のグレを釣りあげることができ気持ちになりました。

そのあとも、何匹か追加して場所交代になります。ルールでは10匹の総重量になりますので何とか揃えようとオキアミを剥いてみたり、あたりウキを付けてみたりとあれこれと試してみますが、数が伸びません。やはりグレ釣りの基本となるハリスの角度やグレの出るタイミングに合わせないと喰わせることができないことを思い知らされ、最終10匹揃えることができず残念でしたが、テトラや防波堤での釣りは、グレの動きを見て釣ることが多いので勉強になることが本当に多いと思います。港に帰り検量になり何とか最初のサイズのグレで、目標とする一人の中澤名人に勝利することができました。

京都府釣連盟はいろいろなメーカーのインストラクター、テスターがおられいつも勉強になることばかりです。

お世話をしていただける、役員の皆様には感謝しております。

これからも、釣技を磨きせつかくの名人位を来年も守りたいと思います。ありがとうございました。